

トップが薦める『わが一冊』

企業のトップになる人たちは、人生においてどんな本を読み、そこから何を得てきたのでしょうか。リコー三愛グループ常任理事会社のトップの方々に、これまでに読んだ本の中から、社員たちに読ませたい一冊、自らの人生に影響を受けた一冊、を選んでいただき、その理由を伺いました。

A 社員たちに読ませたい一冊 **B** 自らの人生に影響を受けた一冊



桜井正光 三愛会会長 / リコー 取締役会長執行役員

A 『巨象も踊る』 ルイス・ガースナー 著

ガースナーは官僚主義に凝り固まった巨象IBMの建て直しのために、食品メーカー大手のナビスコから招聘しょうへいされた。

彼は、大手ユーザーとして、IBMは商品やサービスを押し付ける顧客無視の会社だと分かっていた。IBMの変革はハードからサービスへ、プロダクトアウトからマーケットインへの文化大革命だった。私にこんなことを言っていた「人は誰だっただ現在の住家に安住していたい」と。この一冊は、困難な変革をいかに起こすかを教えてくれる。



『巨象も踊る』
ルイス・V・ガースナー 著
日本経済新聞社

2,625 円
IBMの中で劇的に起こった企業文化の変革のストーリー。トップ就任からリーダーシップチームの再建、そして従業員に新しい目的意識を与えていった様子を、ガースナー自身の言葉で語っている。

B 『坂の上の雲』 司馬遼太郎 著

大國ロシアを日本海海戦で撃破し、日露戦争を勝利に導いた若き海軍戦略参謀秋山真之を描いた大作『坂の上の雲』。坂本竜馬を描いた『竜馬がゆく』と同じく、近代欧米先進国を目指した日本の若者たちの世界観と、自分を信じまさに命をも賭けた行動に、衝撃にも似た感動を覚えた。世界の中に日本を位置づけ、どうあるべきかを考え行動した。彼らのような大きな志を持った若者たちによって今の日本が創られたことを真に学んだ一冊である。



『坂の上の雲』全8巻
司馬遼太郎 著
文春文庫
各 670 円

同じ松山で生まれ育った正岡子規と、日露戦争で活躍した秋山兄弟を軸に、維新から日露戦争の勝利に至る明治日本を描く大河小説。誰もが立身出世を目指した時代に、彼らはどうやって自分の人生の意義を見いだしたのか。

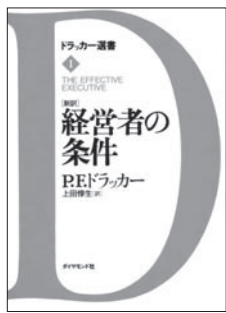




近藤史朗 リコー 代表取締役社長執行役員

A 新訳『経営者の条件』 ピーター・ドラッカー 著

あるセミナーで配られたテキスト本だったと思われる本書を偶然自宅で見つけ、海外出張のバッグに入れた。飛行機の中で読んで長年迷い、悩んだことに明快に答えてくれた。私がドラッカーという人を知った本。



新訳『経営者の条件』
 ピーター・ドラッカー 著
 上田惇生 訳
 ダイヤモンド社
 1,528 円
 経営学を創始し、かつ確立した経営学者ドラッカーの経営書の三大古典の一つの新訳。「今日の組織では、自らの知識あるいは地位のゆえに、組織の活動や業績に対し、実質的な貢献を行うべき知識労働者は、すべてエグゼクティブである」とドラッカーは述べる。

B 『ながい坂』 山本周五郎 著

人間の「やさしさ」、「志」を描いている。作者はどうしてこういう構想を人間の物語にできたのか、山本周五郎そのものに興味を持った。



『ながい坂』上下巻
 山本周五郎 著
 新潮文庫
 各 780 円
 下級武士の子に生まれながら、異例の出世をした男。“人生”というながい坂を人間らしさを求めて、苦しみながらも一步一步踏みしめていく、その男の孤独で厳しい半生を描いた本書は、山本周五郎の最後の長編小説であり、周五郎文学の到達点を示す作品である。



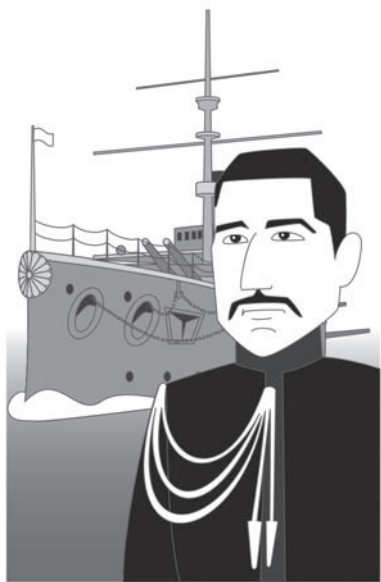
和田敬三 三愛代表取締役社長

A 『坂の上の雲』 司馬遼太郎 著

現代の日本という国体が形成された幕末からの大変革の中で、明治の成長は今日につながる価値を持っていることがよく分かる書である。

著者の繊細な人物描写とスケールの大きい時代感のとらえ方は圧倒的に力強く訴えてくる。第2次大戦後のスキームと価値観にどっぷり漬かっている私（現代の日本人）に、より深く長い歴史観から現代と未来を読み解くことの重要性を気づかせてくれた。

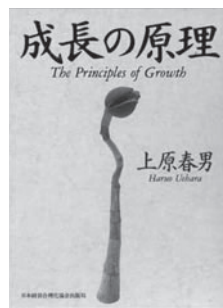
長編であるが面白くて止められないのでご注意を。



B 『成長の原理』 上原春男 著

著者は元佐賀大学学長で海洋温度差発電の世界的権威者という物理学者でありながら、経営コンサルタントとして企業の指導育成を実践され成長企業を生み出しておられる。

企業を仕組みや制度ととらえず人の集まりととらえ、社員の成長こそ企業の成長の根源であり、利益の根源でもあるという原理を明確に心に届けていただき、初めて社長に就任した直後の私に大きな示唆とよりどころを与えていただいた著書である。



『成長の原理』
上原春男 著
日本経営合理化協会出版局
10,290 円

“人間が活動するってことは分野が異なっても本質は同じ。他分野で有効な成功パターンを積極的に自分分野に適用してみる。”

エネルギー工学の第一人者が、ユニークな視点から「成長の五大原理」を企業経営に的を絞って説いた異色の経営指南書。



金田 準 三愛石油 代表取締役社長

A 『人生と仕事について知っておいてほしいこと』

松下幸之助 述

昨今ドラスッカーの思想が人気だが、日本にも同じことを言っている経営者、松下幸之助がいるのを知っていますか？「咲く花は皆違う」「才能をどれだけ生かすことができるか」「失敗は本当の自分を知ってもらうチャンス」「たとえ大志をもっている、今日の現実を忘れて大失敗する」「中庸であること」どの項目も必ず読んでほしい。



『人生と仕事について知
ておいてほしいこと』

松下幸之助 述

PHP総合研究所編

PHP研究所

1,000 円

松下が人生や仕事、さらには自らの人生観について、特に思いを込めて語った講話の中から、PHP 総合研究所が厳選し、その要点をまとめたもの。松下が、人間・人生・仕事に託した思いが浮かび上がる。

B 『日本人とユダヤ人』 イザヤ・ベンダサン 著

同書は、実は山本七平氏による著作です。

時は、「全学連」「浅間山荘事件」の時代でした。「日本人は安全と水は無料で手に入ると思い込んでいる」「全員一致の議決は、ユダヤでは無効である」のフレーズは、後に出てくる竹村健一の「日本の常識は世界の非常識」に通じるもので大学生の私には衝撃的な本でした。

「自衛隊が災害救助に出動すると急にその評価が高まり新聞の扱い方まで温かくなる。天災救助以外は有害とされている」は40年後の現在、東アジア情勢に対しての政府と国民に一石を投じていると言えます。

『日本人とユダヤ人』

イザヤ・ベンダサン 著

角川文庫ソフィア

540 円

日本の歴史と現代の世相についての豊かな学識と深い洞察、新鮮で鋭い問題の提示。ユニークな視点から卓抜な日本人論が展開される。





伊藤隆茂 リコーエレメックス 代表取締役社長

A 『三国志』 吉川英治著

2004年10月から今年3月まで中国（深圳、上海）で仕事をしてきました。6年半という滞在期間にたくさん中国関連の書籍を読みました。その中で中国文化を理解するための本としては、やはり『三国志』をお薦めしたいと思います。ポリユームのある大作なのに、あつという間に読み終わりました。



『三国志』全8巻

吉川英治 著

講談社

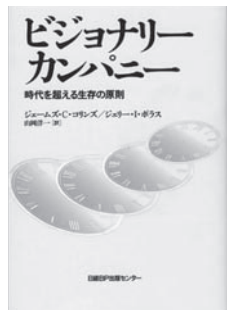
各798円

中国は後漢の時代。政治の腐敗はその極に達し、各地に跳梁する黄巾賊と役人の専横に民衆はあえぎ苦しむ。このとき、血気にはやる一青年劉備は、同志関羽、張飛と義盟を結び、世を救うために立ち上がる。以来100年の治乱興亡に展開する壮大な世紀のドラマ。

B 『ビジョナリーカンパニー』

ジェームズ・C・コリンズ／ジェリー・I・ポラス 著

この本との出会いは1995〜96年ごろだったと記憶しています。部長に昇格した時期に誰かに薦められて読んだ本です。未来志向の企業、先見的な企業に必要な要件をユニークな見方で記述してありました。経営層への入門時期にあった私にとって、大いに参考になった本です。



『ビジョナリーカンパニー』

ジェームズC. コリンズ／ジェリーI. ポラス 著

山岡洋一 訳

日経BP社

2,039円

時代を超え際立った存在であり続ける企業（ビジョナリーカンパニー）18社を選び出し、創立以来現在に至る歴史全体を徹底的に調査、ライバル企業と比較検討し、永続の源泉を「基本理念」にあると解き明かす。



吉松民雄 コカ・コーラウエスト 代表取締役社長

A 『三国志』 吉川英治著

登場する個性豊かな英雄たちの権謀術策の限りを尽くして戦うその背景にあるリーダーシップから、リーダーとして学ぶべきことと必要な資質とは何かを学んでほしい。また、諸葛孔明の発揮する抜群の組織統率力と組織管理能力も学んでほしい。



B 『コーポレートブランド経営』 伊藤邦雄 著

私が課長時代のコカ・コーラはブランド価値10兆円で、世界No.1と当時のフォーチュン誌に紹介されていました。コカ・コーラこそが私の誇りであり、働きたいの全てでした。その私を覚醒させてくれたのがこの本です。商品ブランドと企業ブランドを共にお客さま基点で生かすことが企業価値向上に向けた経営の神髄であることを気付かせてくれました。



『コーポレートブランド経営』

伊藤邦雄 著

日本経済新聞社

1,890 円

ヒト、モノ、カネ、情報に次ぐ経営資源であり、企業価値創造の源でもある“コーポレートブランド”を的確に把握し、企業価値を高めるビジネスモデルを想像していかねばならないと説き、ソニーをはじめ、多くの企業の事例を挙げながら、現代のネット社会に必要なとされる経営モデルと品的資源の生かし方を考察する。



有川貞広 リコーリース 代表取締役社長

A 『ふっと心がかかるくなる禅の言葉』

永井政之 監修

禅の教えは私たちに生きる知恵や励みを与えてくれます。どんな日もかけがえのない一日「日日是好日」、過去や未来を悩まず今に集中するところが大切「莫忘想」、互いを認め合う「和敬静寂」、逆風にもたじろかない強い信念「八風吹けども動ぜず」など83の禅の言葉がその意味するところと合わせて紹介されています。本書を読むと、良い言葉には珠玉の教えとなつて良い人生を送らせる力があると感じます。



『ふっと心がかかるくなる禅の言葉』

永井政之 監修

永岡書店 (コスモ文庫)

510 円

ふっと心が軽くなるような言葉を紹介し、その真理を解説。見開き1ページで一つの言葉の解説になっているので、1日一つ読んで、その日のモットーにするのもよいかもしれません。

B 『人を動かす』

デール・カーネギー 著

より良い人間関係をつくることは、自分と他人の人生を明るく喜びに満ちたものにしたたり、ビジネスの成功にもつながります。本書にはその秘訣が事例に基づいて説き明かされています。リコーグループの行動指針であるお役立ち精神（相手の立場にたつて考え、行動する）の実践にも通じるものがあります。1978年に購読後、幾度となく読み返していますが、そのたびに気づきや学びを新たにします。



『人を動かす』

デール・カーネギー 著

山口 博 訳

創元社

1,575 円

人間関係の古典として、あらゆる自己啓発本の原点となった名著。社会人として持つべき心構えを興味深い実例をもって説得力豊かに解き明かして追随を許さない。